

■ 焼岳の火山活動史

焼岳は、数千年～千数百年の間隔でマグマの噴出を繰り返していました。約2,000年前には、中尾火砕流が発生したと考えられます。近年では、泥流により梓川が堰きとめられ大正池が形成された1915年（大正4年）の噴火、約1年間の継続的活動により足洗谷で泥流が発生した1925年（大正14年）の噴火、噴石により2人が負傷した1962年（昭和37年）の噴火などの水蒸気爆発が多数あります。さらに、現在も噴気活動を続けています。

このように焼岳は、噴火を繰り返してきた若い活火山であるため、今後も再び噴火する可能性があります。

年代	主な活動状況
1962年 (昭和37年)	・噴石により2人が負傷
1925年 (大正14年)	・足洗谷で泥流発生
1915年 (大正4年)	・泥流流下による大正池の形成
1907年 (明治40年)	・水蒸気爆発の活発化 (明治40～昭和14年までほぼ毎年噴火)
約2,000年前	・中尾火砕流の発生 ・溶岩ドームの形成
約5,000年前	・下堀沢溶岩の噴出



<1925年（大正14年）の噴火>



<1962年（昭和37年）の噴火>

■ 火山噴火に備えて

焼岳火山噴火に備えて、このマップに記載されている内容を普段からよく読んで、焼岳が噴火した場合にはあわてず落ち着いて行動するように心がけましょう。

【備えよう、防災用具】

次のものをリュックサックに入れて準備しましょう

- 飲料水・食料
- ヘルメット・防災頭巾
- マスク
- 防寒具
- 雨具
- ラジオ
- 懐中電灯
- 救急医療品・常備薬

次のものはすぐに持ち出せるように準備しましょう

- 携帯電話
- 衣類、タオル
- お金・貴重品

【避難時のお願い】

- § お年寄りや子供、体の不自由な人を助けましょう
- § 土地に不慣れな人を助けましょう



■ 火山噴火の前兆現象

～このような異変に気づいたら、役場へ連絡しましょう～



■ 気象庁の発表する火山情報に注意しましょう

気象庁は、火山に異常現象や噴火活動があったとき、直ちに「火山情報」を発表して、注意・警戒を呼びかけます。もしも、焼岳の火山情報が発表されたときには注意しましょう。



緊急火山情報 : 生命・身体にかかわる火山活動が発生した場合、またはそのおそれがある場合に発表します。これが発表されたら、役場や警察の指示に従って、できるだけ早く避難しましょう。

臨時火山情報 : 火山活動に異常が発生し、注意が必要なときに随時発表します。これが発表されたら、登山は控え、山の動きや役場からの情報に注意しましょう。状況によっては避難の準備が必要です。危険と思ったら自主的に避難しましょう。

火山観測情報 : 緊急火山情報、臨時火山情報を補う場合や、火山活動に変化があった場合などに発表します。